



平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 東洋炭素株式会社
コード番号 5310 URL <http://www.toyotanso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 尚孝
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 坊木 斗志己

TEL 06-6451-2114

四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年5月期第3四半期 | 27,589 | 42.4 | 4,349 | 276.7 | 4,154 | 319.0 | 2,866 | 386.5 |
| 22年5月期第3四半期 | 19,370 | △21.1 | 1,154 | △74.2 | 991 | △75.8 | 589 | △75.6 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年5月期第3四半期 | 138.24 | — |
| 22年5月期第3四半期 | 28.41 | 28.41 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年5月期第3四半期 | 62,690 | 50,602 | 78.8 | 2,383.87 |
| 22年5月期 | 61,786 | 48,960 | 77.4 | 2,306.55 |

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 49,428百万円 22年5月期 47,825百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年5月期 | — | — | — | 20.00 | 20.00 |
| 23年5月期 | — | — | — | — | — |
| 23年5月期 (予想) | — | — | — | 22.00 | 22.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,000 | 25.3 | 5,000 | 121.9 | 4,800 | 131.9 | 3,300 | 128.8 | 159.16 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期3Q 20,750,688株 22年5月期 20,750,688株

② 期末自己株式数 23年5月期3Q 16,215株 22年5月期 16,215株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期3Q 20,734,473株 22年5月期3Q 20,734,507株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| (1) 品目別の受注および販売状況 | 10 |
| (2) 概況 | 11 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政状況への懸念や原燃料価格の上昇等の懸念はあったものの、アジア諸国をはじめとする新興国の高成長や各国の経済対策の効果にも支えられ、着実に景気回復が進みました。国内経済も、輸出および生産の改善や設備投資の持ち直し等により、総じて回復基調をたどりましたが、円高の進行や経済対策縮小の反動の影響も含めて、後半にかけてやや足踏み状態となりました。

このような状況の中、当企業グループは、特に環境・エネルギー関連分野を中心とする旺盛な需要を積極的に取り込むとともに、アジアを中心にグローバル展開を一段と加速する等、事業拡大と業績改善に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、円高の進行や高水準の減価償却費負担の影響はあったものの、売上高は275億8千9百万円（前年同期比42.4%増）、営業利益43億4千9百万円（同276.7%増）、経常利益41億5千4百万円（同319.0%増）となり、また四半期純利益は28億6千6百万円（同386.5%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。（品目別の概況は補足情報をご参照下さい。）

日本

景気回復を背景に、各用途において需要の拡大が進展したことに加えて、SiC（炭化ケイ素）コーティング黒鉛製品やC/Cコンポジット製品をはじめとする高付加価値品や新規用途・案件での拡販が進む等、総じて好調に推移いたしました。その結果、売上高は150億円、営業利益は21億1千8百万円となりました。

米国

円高の影響は依然大きいものの、化合物半導体・太陽電池関連をけん引役として徐々に回復傾向が強まりました。その結果、売上高は21億6千万円、営業損失は1千5百万円となりました。

欧州

欧州経済の持ち直しを背景に、太陽電池・ブラシ関連を中心に堅調に推移いたしました。その結果、売上高は22億6千万円、営業利益は3億8百万円となりました。

アジア

太陽電池・化合物半導体関連をはじめとする旺盛な需要を背景に、各用途とも極めて好調に推移いたしました。その結果、売上高は81億6千7百万円、営業利益は15億3千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計は、前期末に比べ9億4百万円増加いたしました。これは主に減価償却費計上等により有形固定資産が19億3百万円減少したものの、売上高増加による受取手形及び売掛金15億2千8百万円の増加および中間在庫の計画的積み増し等によりたな卸資産が11億1千7百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前期末に比べ7億3千7百万円減少いたしました。これは主に受注増加にともなう原材料の調達が増加したことによる支払手形及び買掛金3億5千8百万円の増加、未払法人税等6億8千4百万円の増加および有形固定資産の購入による支払い等のため有利子負債が4億5千9百万円増加いたしました。未払金が9億4千2百万円および設備関係支払手形が13億7千6百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べ16億4千1百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が8億5千3百万円減少したものの、利益剰余金が24億5千1百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年1月13日発表の予想数値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ6百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は2億2千3百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2億7千5百万円であります。

表示方法の変更

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,183,161 | 7,921,993 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,184,738 | 10,656,152 |
| 商品及び製品 | 4,679,325 | 4,218,778 |
| 仕掛品 | 6,052,287 | 5,603,781 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,296,513 | 1,088,051 |
| その他 | 1,433,024 | 1,617,608 |
| 貸倒引当金 | △145,606 | △106,033 |
| 流動資産合計 | 33,683,443 | 31,000,331 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,376,528 | 7,258,700 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 12,481,072 | 13,628,077 |
| 土地 | 5,293,554 | 5,308,552 |
| 建設仮勘定 | 585,266 | 1,526,421 |
| その他(純額) | 650,602 | 569,023 |
| 有形固定資産合計 | 26,387,024 | 28,290,775 |
| 無形固定資産 | 790,776 | 921,714 |
| 投資その他の資産 | 1,829,719 | 1,573,408 |
| 固定資産合計 | 29,007,521 | 30,785,898 |
| 資産合計 | 62,690,965 | 61,786,229 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,720,557 | 2,362,097 |
| 短期借入金 | 1,769,687 | 1,682,140 |
| 未払金 | 2,406,201 | 3,348,215 |
| 未払法人税等 | 864,942 | 180,746 |
| 賞与引当金 | 508,986 | 713,946 |
| その他 | 1,277,788 | 2,633,638 |
| 流動負債合計 | 9,548,163 | 10,920,785 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 802,842 | 431,074 |
| 退職給付引当金 | 675,332 | 592,593 |
| 資産除去債務 | 277,123 | — |
| その他 | 785,449 | 881,521 |
| 固定負債合計 | 2,540,748 | 1,905,188 |
| 負債合計 | 12,088,911 | 12,825,974 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,692,575 | 7,692,575 |
| 資本剰余金 | 9,534,686 | 9,534,686 |
| 利益剰余金 | 34,335,950 | 31,884,339 |
| 自己株式 | △57,408 | △57,408 |
| 株主資本合計 | 51,505,805 | 49,054,194 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,333 | 1,842 |
| 為替換算調整勘定 | △2,084,824 | △1,231,034 |
| 評価・換算差額等合計 | △2,077,491 | △1,229,192 |
| 新株予約権 | 16,740 | 6,696 |
| 少数株主持分 | 1,156,999 | 1,128,557 |
| 純資産合計 | 50,602,053 | 48,960,255 |
| 負債純資産合計 | 62,690,965 | 61,786,229 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 19,370,002 | 27,589,092 |
| 売上原価 | 14,056,401 | 18,726,356 |
| 売上総利益 | 5,313,600 | 8,862,736 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,158,951 | 4,512,976 |
| 営業利益 | 1,154,649 | 4,349,760 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 37,416 | 21,191 |
| 受取配当金 | 53,737 | 5,941 |
| 通貨オプション益 | 55,964 | 73,070 |
| その他 | 59,412 | 40,597 |
| 営業外収益合計 | 206,530 | 140,800 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27,352 | 36,352 |
| 為替差損 | 286,201 | 288,626 |
| 投資有価証券評価損 | 31,600 | — |
| その他 | 24,332 | 10,799 |
| 営業外費用合計 | 369,487 | 335,778 |
| 経常利益 | 991,692 | 4,154,781 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 33,916 | 87,702 |
| 貸倒引当金戻入額 | 63,916 | — |
| 受入助成金 | 27,404 | 400 |
| 過年度特別退職費用戻入益 | 21,028 | — |
| 特別利益合計 | 146,265 | 88,102 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 273 | 4,016 |
| 固定資産除却損 | 10,418 | 16,679 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 216,240 |
| 過年度関税等支払額 | — | 23,894 |
| 特別損失合計 | 10,691 | 260,829 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,127,266 | 3,982,054 |
| 法人税等 | 539,386 | 900,800 |
| 過年度法人税等 | △28,543 | — |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 3,081,254 |
| 少数株主利益 | 27,290 | 214,953 |
| 四半期純利益 | 589,132 | 2,866,300 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,127,266 | 3,982,054 |
| 減価償却費 | 2,503,757 | 3,643,927 |
| のれん償却額 | 8,179 | 8,179 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 236,214 | 92,426 |
| 過年度特別退職費用戻入益 | △21,028 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 216,240 |
| 長期未払金(役員退職慰労金)の減少額 | △2,700 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △307,185 | △200,995 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △35,840 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △103,003 | 44,861 |
| 受取利息及び受取配当金 | △91,154 | △27,132 |
| 支払利息 | 27,352 | 36,352 |
| 為替差損益(△は益) | 286,201 | 288,626 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 31,600 | △2,074 |
| 固定資産売却益 | △33,916 | △87,702 |
| 固定資産除売却損 | 10,691 | 20,695 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,171,070 | △2,018,466 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,406,199 | △1,391,780 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 623,043 | 654,582 |
| その他 | 277,825 | 32,591 |
| 小計 | 1,960,036 | 5,292,386 |
| 利息及び配当金の受取額 | 101,135 | 25,530 |
| 利息の支払額 | △25,079 | △33,436 |
| 法人税等の支払額 | △22,539 | △351,893 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,013,551 | 4,932,586 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △4,454,774 | △1,156,576 |
| 定期預金の払戻による収入 | 9,602,234 | 1,184,343 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,192,799 | △4,528,526 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 133,728 | 166,681 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △517,302 | △27,915 |
| その他 | 8,613 | △119,372 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △420,298 | △4,481,366 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △328,363 | △316,910 |
| 長期借入れによる収入 | 559,714 | 1,187,783 |
| 長期借入金の返済による支出 | △150,670 | △314,674 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △3,930 | △15,841 |
| 自己株式の取得による支出 | △410 | — |
| 配当金の支払額 | △413,759 | △413,685 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △83,468 | △86,740 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △420,889 | 39,931 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △135,029 | △167,853 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,037,334 | 323,297 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,412,364 | 5,802,412 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,449,698 | 6,125,710 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

当社および連結子会社の事業は、カーボン製品関連を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

| | 日本 (千円) | 北米地域 (千円) | 欧州地域 (千円) | アジア地域 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|------------------------|------------|--------------|--------------|---------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 10,495,497 | 1,725,456 | 1,863,860 | 5,285,188 | 19,370,002 | — | 19,370,002 |
| (2) セグメント間の内部売上高または振替高 | 3,701,055 | 17,851 | 1,301 | 72,614 | 3,792,823 | (3,792,823) | — |
| 計 | 14,196,552 | 1,743,307 | 1,865,161 | 5,357,803 | 23,162,826 | (3,792,823) | 19,370,002 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △64,813 | △34,834 | 77,788 | 855,914 | 834,055 | 320,593 | 1,154,649 |

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

| | 北米地域 | 欧州地域 | アジア地域 | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高(千円) | 1,651,169 | 2,151,906 | 7,025,574 | 135,572 | 10,964,223 |
| II 連結売上高(千円) | | | | | 19,370,002 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 8.5 | 11.1 | 36.3 | 0.7 | 56.6 |

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にカーボン製品の生産および販売を行っており、国内においては当社および国内子会社が、海外においては米国、欧州、アジアの各地域を現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」および「アジア」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 米国 | 欧州 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,000,114 | 2,160,597 | 2,260,984 | 8,167,396 | 27,589,092 | — | 27,589,092 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5,309,770 | 60,625 | 11,875 | 96,462 | 5,478,734 | △5,478,734 | — |
| 計 | 20,309,885 | 2,221,222 | 2,272,860 | 8,263,858 | 33,067,826 | △5,478,734 | 27,589,092 |
| セグメント利益又は 損失 (△) | 2,118,929 | △15,126 | 308,807 | 1,534,913 | 3,947,524 | 402,235 | 4,349,760 |

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 地域に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

(単位：千円)

| | 日本 | 北米 | 欧州 | アジア | | その他 | 計 |
|-----|------------|-----------|-----------|------------|-----------|---------|------------|
| | | | | うち中国 | | | |
| 売上高 | 11,561,310 | 2,061,609 | 2,533,805 | 11,218,117 | 7,723,321 | 214,248 | 27,589,092 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

- (1) 北米……米国
- (2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア
- (3) アジア……中国、台湾、韓国

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 品目別の受注および販売状況

①受注金額

(単位：百万円)

| 品 目 | 平成22年5月期 | | | | | | 平成23年5月期 | | | |
|-------------------------|----------|-------|-------|-----------|--------|----------|----------|-------|-------|-----------|
| | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 3 Q 累計 | 4 Q | 年度 合計 | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 3 Q 累計 |
| 特殊黒鉛製品 | 2,530 | 3,539 | 3,643 | 9,713 | 4,349 | 14,062 | 4,900 | 4,413 | 5,285 | 14,600 |
| 一般カーボン製品 (機械用カーボン分野) | 484 | 523 | 585 | 1,593 | 630 | 2,223 | 628 | 686 | 699 | 2,015 |
| 一般カーボン製品 (電気用カーボン分野) | 1,155 | 598 | 891 | 2,644 | 1,216 | 3,861 | 1,190 | 1,003 | 1,217 | 3,411 |
| 複合材その他製品 | 1,715 | 1,297 | 2,627 | 5,640 | 4,011 | 9,652 | 2,462 | 2,093 | 2,144 | 6,700 |
| 合 計 | 5,885 | 5,958 | 7,747 | 19,592 | 10,207 | 29,799 | 9,182 | 8,197 | 9,347 | 26,727 |

②受注残高

(単位：百万円)

| 品 目 | 平成22年5月期 | | | | 平成23年5月期 | | |
|-------------------------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 4 Q | 1 Q | 2 Q | 3 Q |
| 特殊黒鉛製品 | 1,522 | 1,686 | 2,030 | 2,637 | 3,336 | 3,328 | 3,834 |
| 一般カーボン製品 (機械用カーボン分野) | 282 | 306 | 344 | 382 | 418 | 464 | 512 |
| 一般カーボン製品 (電気用カーボン分野) | 613 | 414 | 387 | 616 | 679 | 648 | 947 |
| 複合材その他製品 | 1,560 | 1,728 | 2,789 | 3,983 | 4,406 | 3,865 | 3,799 |
| 合 計 | 3,978 | 4,136 | 5,551 | 7,620 | 8,840 | 8,307 | 9,094 |

③品目別販売実績

(単位：百万円)

| 品目 | 平成22年5月期 | | | | | | 平成23年5月期 | | | |
|-------------------------|----------|-------|-------|----------|-------|----------|----------|-------|-------|----------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 3Q 累計 | 4Q | 年度 合計 | 1Q | 2Q | 3Q | 3Q 累計 |
| 特殊黒鉛製品 | 2,958 | 3,514 | 3,525 | 9,998 | 4,186 | 14,184 | 4,551 | 4,681 | 5,031 | 14,264 |
| 【エレクトロニクス分野】 | 1,437 | 1,783 | 1,757 | 4,977 | 2,079 | 7,057 | 2,611 | 2,630 | 2,983 | 8,225 |
| 【一般産業分野】 | 1,307 | 1,495 | 1,547 | 4,350 | 1,840 | 6,190 | 1,737 | 1,844 | 1,810 | 5,392 |
| 【その他】 | 213 | 235 | 220 | 669 | 267 | 936 | 203 | 206 | 237 | 647 |
| 一般カーボン製品 (機械用カーボン分野) | 537 | 504 | 565 | 1,606 | 663 | 2,269 | 625 | 678 | 684 | 1,987 |
| 一般カーボン製品 (電気用カーボン分野) | 884 | 1,030 | 970 | 2,885 | 1,046 | 3,931 | 1,128 | 1,063 | 955 | 3,146 |
| 複合材その他製品 | 1,442 | 1,318 | 1,456 | 4,217 | 2,494 | 6,711 | 2,423 | 2,648 | 2,234 | 7,306 |
| 【主要3製品】 | 1,230 | 1,118 | 1,268 | 3,617 | 2,184 | 5,802 | 2,124 | 2,257 | 1,838 | 6,220 |
| 【その他製品】 | 212 | 199 | 187 | 599 | 309 | 908 | 298 | 391 | 395 | 1,085 |
| 商品 | 163 | 292 | 206 | 663 | 164 | 827 | 325 | 287 | 270 | 883 |
| 合計 | 5,986 | 6,659 | 6,723 | 19,370 | 8,554 | 27,924 | 9,054 | 9,358 | 9,175 | 27,589 |

(2) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野においては、太陽電池製造用が主力の中国を中心にアジア地域の需要が大幅に拡大、日本・欧州・米国も堅調に推移いたしました。特に中国・韓国・台湾の顧客の増設意欲は依然旺盛で、今後も強含みで推移する見込みです。単結晶シリコン製造用は、回復基調にはあるものの、国内半導体業界の一服を背景に引き続き横這い水準となりました。

一般産業分野では、国内はやや伸び悩んだものの、特に海外において主力の放電加工電極や冶金用が景気に連動して増勢が続き、総じて堅調に推移いたしました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、景気回復を受けて緩やかな回復基調が継続いたしました。国内は円高を背景として伸びは小幅にとどまっていますが、海外は新規需要開拓が功を奏し拡販が進みました。

電気用カーボン分野は、主力の掃除機用・電動工具用等の小型モーター用が総じて堅調に推移いたしました。後半にかけて中国の需要が減速するとともに、フェューエルポンプ等の国内自動車用がエコカー補助金制度終了の反動もあり停滞いたしました。

複合材その他製品

SiC(炭化ケイ素)コーティング黒鉛製品においては、アジアを中心とするLED関連の高成長と半導体関連の回復に支えられ、需要は引き続き高水準で推移いたしました。ただしLED関連は、急激な成長の反動もあり後半より一時的に調整局面に入っております。C/Cコンポジット製品は、単結晶シリコン製造用のC/Cのつぼが顧客層の拡がりも含めて順調に拡大するとともに、太陽電池製造用が新規案件含めて引き続き高水準で推移いたしました。大型案件による四半期毎の振幅は一部あるものの、今後とも好調を持続する見込みです。黒鉛シート製品は、半導体・太陽電池関連を中心に底堅く推移いたしました。